

## 第7回麻生区区民会議

1 開催日時 平成19年12月20日(木)午後6時~午後8時5分

2 開催場所 麻生区役所第1会議室

3 出席者 [委員]

石田委員、上野委員、小川委員、尾中委員、神本委員、佐藤委員、  
菅原委員、田中委員、谷川委員、玉蟲委員、津田委員、西谷委員、  
松本委員、京委員、守田委員、矢野委員

(欠席)笠原委員、高桑委員、平林委員

: 委員長 : 副委員長

[参与]

尾作参与、勝又参与、山口参与、山崎参与

(欠席)雨笠参与、伊藤参与、花輪参与、相原参与、吉田参与

[事務局]

太田区長、秦野副区長、古知屋総務企画課長、向坂総務企画課企画調整  
担当主幹、岩佐総務企画課企画調整担当課長補佐

4 次 第 (1) 開 会

(2) 議 事

1 課題の調査審議について ~「心が響きあう地域づくり」~

ア「農」の専門部会からの調査検討経過の報告及び事例の調査審  
議

イ「高齢者」専門部会からの調査検討経過の報告及び事例の調査  
審議

2 麻生区区民会議「区民フォーラム」企画案について

(3) その他

1 次期区民会議委員の選出分野別構成について

2 第8回区民会議の日程について

(4) 閉 会

【配布資料一覧】

「次第」、「委員・参与名簿」、「席次表」

資料1 「農」の専門部会~調査検討経過について~

資料2 「高齢者」専門部会~調査検討経過について~

資料3 麻生区区民会議「区民フォーラム」企画案

資料4 麻生区区民会議要綱

## 1 開会

委員長 こんばんは。師走の非常にお忙しいところ、お集まりいただき本当にありがとうございます。今回の区民会議が第7回ということですが、ちょうど始めてから1年半がたつこととなります。この間、私たちも試行錯誤しながら検討し、審議をしてまいりました。しかし、まだ区民の皆様には区民会議が浸透していないのではないかとということで、前回お諮りいたしましたフォーラムを2月に開催しようということになりました。そこで、実行委員会を立ち上げまして検討した内容を、今回、本会議で検討していただくことになりました。農と高齢者の専門部会からの経過報告とご審議もありますので、時間が足りないと思いますが、よろしくをお願いします。

議事に先立ちまして、1つご報告を申し上げたいことがございます。区民会議でご活躍いただいています神本委員が、平成19年の全国交通安全母の会連合会会長賞を受賞されました。12月6日ということです。おめでとうございます。(拍手)非常に活躍をされて、お忙しくされていましたが、今回表彰されるということで、私たちとしても区民会議のメンバーであるということで喜ばしいことと思います。本当におめでとうございます。

それでは、議事に入らせていただきたいと思います。

まず初めに、この会議は公開となっております。傍聴者の皆様へのお願いですが、お手元に配付しております遵守事項をご一読いただき、お守りいただきますようお願いいたします。

## 2 議事

(1) 課題の調査審議について～「心が響きあう地域づくり」～  
ア「農」の専門部会からの調査検討経過の報告及び事例の調査審議

委員長 それでは、次第2の議事(1)課題の調査審議についてに移らせていただきます。

区民会議では、「心が響きあう地域づくり」を課題テーマとして、2つ目の事例として、「地元農産物と地域の交流」を、3つ目の事例として、「高齢者」を取り上げてまいりました。この2つの事例につきまして、専門部会を設置して調査検討を進めていただいておりますので、それぞれの専門部会から調査検討経過についてご報告いただき、その中で全体で意見交換を行っていただきたいと思います。

初めに、「農」の専門部会から始めたいと思います。

尾中部会長、よろしくお願いいたします。

委員 それでは、説明させていただきます。

お手元にあります資料1というのが「農」の部会の資料になりますので、見ていただければと思います。

1枚めくっていただきますと、前回ご報告させていただいた内容になっておりまして、その2枚目以降が前回の会議を終えてからの進行内容になっております。第6回的时候に王禅寺小学校をモデル校とするということでお話しさせていただきました。そのままそれを進めさせていただいたというのが3番です。右のほうに事例、事例、事例とありますけれども、主に事例ということでも今ずっとやってきております。ですから、先に事例を説明させていただきまして、その後、事例、事例を補足させていただきます。

まず、前回の会議を終了いたしまして、その後、王禅寺小学校にもう1度そのような取り組みをさせていただきますということをお話し、小学校のほうに同意をいただきました。それにつきまして回答をいただいて、11回の部会においてその進め方を検討いたしました。事例のところ、右のほうに書いてありますけれども、学校の回答を受けて、今後の進め方について検討しました。このときに、だれにリーダーになってもらうかということのいろいろ検討したんですが、まずは個人にお願いすべきなのか、あるいは何らかの団体をお願いすべきかということで、この時点でまず1つ、どこに依頼するかという事項がありました。個人ですと、個人ということではなかなか負担がかかるということとか、だれが該当するかということも難しいので、それよりも団体ということだったんですが、またこの団体も、松本委員等にいろんな団体をご紹介いただいたんですが、どこへお話を持っていくかということも議論になりました。その中で、松本委員の推薦もあって、地域教育会議にお話を持っていったらどうかということで、我々部会の中で合意いたしました。その後、王禅寺中学校区地域教育会議に連絡を取り、そもそもお願いすることが可能かどうかということを確認し、一応説明に伺うことのオーケーをいただいた。第12回の専門部会は、それを受けて今後どうやって進めていけばいいのかという内容を検討しました。

あと事例のほうは、お願いする団体あるいは代表の方の目処がつかまりましたので、事例、事例について話を進めたということです。ここは後でもう1度ご説明させていただきます。事例をそのまま進めまして、11月27日、この時点で王禅寺中学校区地域教育会議の方ということになりましたので、それを王禅寺小学校に説明し、王禅寺中学校区地域教育会議の代表の方に12月5日にお会いして、一応内容をご説明しました。それが左のほうの12月5日と書かれている横のところには検討内容とあります。こここのところを読んでいただきますとわかるように、今、白山小学校と白山中学校との統合がありますので、今、王禅寺中学校区地域教育会議としてもばたばたしている。PTA、あるいはそれを取り巻くいろんな団体も統合に向けて、そちらのほうは今先行しているので、なかなか難しいのではないかとということで、団体として受けるのはちょっと厳しいというような回答をいただきました。

お会いした王禅寺中学校区地域教育会議の議長さんからは、個人としてそのような

問題を受けて検討していくという形とし、統合が進んだ後に、改めて団体として受けるかどうかということをもう1度検討していただけるということでした。ただ、このところは、まだ私どもの考えもきちんと伝え切っておりませんので、年明けにもう1度お会いして詳細を詰めていきたいと思っております。

ここでちょっと1点、私見ではあるんですけども、やっつけていて気になったのは、小学校のほうでいろいろこういう課題がありますというところまではいいんですけども、その課題があるということを経験から提案を受けて何か実行するとなると、やはり区民会議が言ったからするというのはなかなか気持ち的に穏やかではないというか、お話ししてそういうところをちょっと感じられて、こちらとしては、問題を提起して、あとはお願いするという形にならざるを得ないのかなと、今回代表の方にお会いしてちょっとそんな感じを受けました。こちら辺も誤解があるといけないので、もう1度お会いするという事です。

小学校のほうにつきましては、前回は終わってから、だれにお願いしてどういうふうにしていくかというところずっとやりまして、今ご説明したような経緯になっております。

次に、1枚めくっていただきますと、小学校を通じての食育についてのシートになっています。A3のもので、こちらのほうは一応ずっと進めまして、右のほうに行けばどんどん進むという認識なんですけど、7番のところへの一歩足がかりまで、課題解決に向けた取り組みというところまで一応は進んできたかなという段階になっています。

4番のところは基本的には一番骨組みになるんですけども、4番の上の方が短期的なところ、このところはモデルとして王禅寺ですので、王禅寺小学校にお願いした今のような経緯があります。下のほう、中長期的なところにおきましては、各小学校に、できるところ、できないところがあると思いますが、いろいろ波及していけばいいなという対応策になっています。こちらのほうはまた追って進めていきたいと思っております。

また、1枚めくっていただきますと、王禅寺小学校のほうからのニーズ等の結果があります。これは前回お配りしておりますので、こういうニーズがあってというのを紹介させていただいております。

次の5ページ、1枚めくっていただくと、また折りのA3のペーパーが入っています。こちらのほうの図は少し変更しておりますので、開いていただきますと、左側に地域があります。もともとは地域住民と小学校というのは直接交流になっていたんですけども、間に連携窓口ということで、ここには個人、自治会などの地域活動団体ほかという形で入れさせていただきました。こういう形をとることが、よりスムーズに学校あるいは地域との連絡をとるには適しているのではないかとということで入れさせ

ていただいております。そういう変更がありました。

次をめくっていただきますと、先ほどから出ておりましたどうして地域教育会議にお願いしたのかということなんですけれども、地域教育会議の簡単な概要が書いてありますので、こちらのほうは後でご覧いただければと思います。我々のほうも、ただあるからお願いというわけではなくて、一応いろんな定款とかいろいろ拝見してお願いしようということの中で議論したということをお伝えしたかったので、入れてあります。

では、今のが小学校の食育を通じてのところなんですけど、次のページを見ていただきますと、これが少し座礁というか、ちょっと難しいところに今ある課題の2つが次のページにあります。

もともと食育と、あと市場、直売所を通じての交流と市民農園を通じての交流ということだったんですが、まず今めくっていただいたものは、市場、直売所を通じての交流を検討してきた経緯になります。ここで3番のところの課題解決策のアイデアなんですけど、ここは部会の中でも話がいろいろとあり、とらえ方が違ったりとかしたんですけれども、1つは、前回、高桑委員にご紹介いただいた大型直売所セレサモス、ここを何とかうまく使ってできないかということと、片や下のほうに今度とありますけれども、身近な直売所のマップづくりということで、ちょっと歩いたら行けるような近いところのマップをつくって地域交流していく。先ほどの大型の直売所ではなくて身近な直売所、こちらのほうを使った交流というのも話に出てきまして、農協さんのほうのセレサモスというところを強調する中で、区民会議が地元の直売所というところに注目する、あるいは大型の直売所に注目したとしてもイベント的なものになってしまって、それが果たして心が響きあうのかということで、ここは実はずっと、前回の会議のときは入り口だったんですが、ちょっとここ2回部会をやった中でなかなか方向性が決まらず、どうしていこうかというようなところに今あります。

横のほうには、短期的対応と中長期的な対応とあるんですが、このイメージは我々部会の中でも共通してしまっていて、やはり区民との交流が当然目的だということもわかっておりますし、また、中長期的なところで区民との交流とかマップづくりとか、こういうことも賛成なんですけれども、時期がこのときにやるべきことなのかというところがちょっとありまして、今ペンディングです。ですから、ここについても何かご意見、あるいはまた別の視点があるようでしたら、後でいただければなと思います。

次に、もう1枚めくっていただきますと、こちらのほうが全くの手つかずに近い状態なんです。市民農園 市民農園というところなんですけど、農園、農業をされている農地、何かしらを通じて触れ合えないかということなんですけど、このところもずっと相続、法律絡み、農地絡みで区民会議が入るべきかどうかということがそもそ

もありまして、議論する前にそこでずっとストップをしていたので、このところを前回の部会で少しだけお話ししました。農家の意向があるのかどうか、あるいは法律的な問題にしても、我々がきちんと目で見てわかるというか、理解できるような形に1回整理すべきではないかという話が出まして、このところは、次回の我々の部会のほうでもう1度掘り下げ方を検討していきたいなと思っています。

また、ここにつきましても、農家の方からのこういう声があるとか、もし皆さんの中にございましたら、そういう声をいただきたいと思います。我々の中であった声としては、やはり収穫時期に近所の人が手伝ってくれたらいいなという声があったということでしたので、そういうことが身近に触れ合いの場として利用できればやっていきたいなという話が少し出ました。ですから、そういうことができるのか、本当に可能かどうかというところが一番なんですけれども、そのところを今後、検討していきたいなと思っています。

今ご説明しましたのが、現状の「農」の部会での進行の内容になります。1つは、今王禅寺のほうに投げかけさせていただいているものがこういう状態だということを知りたくてということと、直売所と市民農園のほうは何かアイデアあるいはご意見等があればぜひ伺いして、また年明け早々に「農」の専門部会を開きます。そちらのほうで検討していきたいと思いますので、ご意見をいただければと思います。

報告は以上になります。

委員長 ありがとうございます。「農」の専門部会からご報告いただきましたが、尾中部会長から幾つか提案がありました。それについて何か皆さん、ご意見がありましたら、ぜひお聞かせいただけるといいのですが。

委員 参考までに要望しておきたいと思ひまして、発言をさせていただきます。

資料5ページをお開きいただきたいんですが、右側のほうに農作業の分類ということで、子どもが行うもの、サポーターが行うもの、子どもとサポーターが合同で行うものというぐあいにありますけれども、区民会議が学校へ出かけていって子どもの食育に多く資したいという思いでこのテーマが取り上げられていると思うんです。それは大変結構なことでありますし、ぜひ成功をするようにしていきたいなと思うんですが、ただ、食育といいますか、この農作業にかかわっていく主体者はあくまでも子どもですので、ですから、余り周りから指導の手を懇切に加えていきますと、裏返しに子どもたちが自主的、主体的に実践していくところが薄らいでいくという懸念があります。したがって、子どもたちに農作業等の実践の力をつけるためにどこまでフォローアップしていくのかというところが非常に大事だと思います。よかれと思ってしたことが、子どもの自分たちの力を育てていくところをそいでしまうようなことが決してあってはならないと思いますので、その辺、ご配慮いただけたらなと思います。

2つ目は、その下に農業指導とあって、必要とする内容、指導方式等とありますが、当然のことながら、子どもたちに指導をしていくのは、地域から上がってくる人なのかもしれませんが、その指導者と学校とがよく話し合いをして、共同作業によってこの指導が行われる必要があると思います。そうなってくると、カリキュラム、指導計画等が指導者と学校との協議と合意で事業が展開されていくことが大事になると思いますので、老婆心ながらつけ加えさせていただきたいと思います。

委員 今ご指摘いただいたことは、学校のほうからも注意を受けております。学校のほうもやはり一番の懸念している事項というのが、地域から入ってきて必要以上にやられてしまうこと、目的が変わってしまいますので、そういうところを気をつけてくださいということは言われていました。

それとあと、4月からスタートで、カリキュラムに合わせた形でということもありましたので、早ければ本当は来年度と思ったんですけども、先ほどの合併のお話がありまして、そのところはその次の年度からカリキュラムに織り込んだ形でやっていくというようなお話はいただいております。ただ、気をつけないとすぐそういうのは忘れてしまいますので、きちんと気をつけてやっていきたいと思います。

先ほど言いましたように、王禅寺中学校区地域教育会議の議長の方にもご説明したんですけども、やはりこの点、今回ご説明した人はきちんとわかっていたので、出過ぎず、子どもたちが主体性を持ってやっていくということがあったんですが、外の団体をお願いするときにやはりそこをきちんと伝え切っておかないと、学校との間に初めに立っているのは区民会議ですので、後々その問題が出てしまうというのをちょっと感じております。今後、外部の団体等、あるいはそういうお願い事をするときには、ほかの部会もそうかもしれませんが、そういう点はきちんと気をつけていかなければいけないなというのがあります。

今正直申しまして、「農」の部会のところでかなり行き詰まっている感があるので、ぜひ皆さんから、先ほどの直売所あるいは市民農園というか、近くの農家の方との関係等で、何かこういう方向の切り口、あるいはこんなことはどうだろうというのを、思いつきで結構なので、いただくと非常に助かります。

委員 7ページの市場、直売所を通じた交流の、先ほど尾中さんがご説明なさった4番です。中長期的対応策としてマップづくりというのが出てまいりましたが、私もその企画部会に入っております、当初、実情を余りよく知らない人間として、近くに直売所があるからそれを地図に落としてマップづくりというのはいいですよとかかなり盛り上がったことを思い出しましたが、高桑委員からご説明がありましたのは、とにかくセレサモスを成功させる、少しでも多くそこに出荷をしていただく生産者を集めなくてはならない、それが大きな課題ですというふうにご説明がありました。ですから、恐らくマップづくりというのは高桑委員のようなお立場からすると、ちょっと疑

問符が出されたのではないかなという想像をいたしますが、何も知らないとこれはとてもいいアイデアなんです、麻生区全体を見通してまず何を優先させていくかということ考えたときには、やはり優先順位というものが当然出てくるでしょう。やりたいのはやまやまだけれども、まず何を成功させて、このあたりからならいいだろうというのは、やっぱり皆さんのご意見を集約させてやっていただくのが一番いいのではないかなというふうに思っております。よろしく願いいたします。

委員 おっしゃるように、やはりマップづくりは一番身近で、区民の方が利用したいなという意向が多分あるんだと思うんですけども、やはりおっしゃったように、農協さんのほうでは大型直売所がありますので、委員でも高桑委員が入っていただいていますので、「農」の部会のほうでそこまでやるのがどうかというのがちょっとあります。そのところは、今おっしゃったように、優先順位とか、あるいは区民のニーズというところをもう1度きちんと検討して、できるところを考えてやっていきます。

ほかに何かご意見をいただければと思うんですが、いかがでしょうか。もしないようでしたら、せっかくですので、先ほど地域教育会議の紙を1枚入れさせていただいています。ご存じの方は結構なんです、松本委員から少しご説明いただいてもよろしいですか。

委員 資料6ページ目の参考という形で1枚、川崎市地域教育会議について紹介の資料を載せております。今回、王禅寺小学校に対して地域教育会議もその団体の1つだということで紹介をしたんですが、設立の経緯というのはそこに書いてあります。川崎市で起こった事件を背景に、川崎市の教育懇談会というものができて、その中の具体的な1つの活動ということで、地域教育会議の創設というのがあります。歴史的にはそういう話があります。

具体的に、今麻生区には8中学校あって、その中学校区ごとに地域教育会議というのが8つあります。それと、行政区として麻生区の地域教育協議会というのがございます。そういった意味で、麻生区には9つの地域教育会議という団体があります。これは川崎市の教育委員会のほうから事業の委託を受けて活動をしております。

その目的は、設立の経緯の背景等があるんですが、地域の教育力を高めていきたいと思いますということではいろんな活動をしています。その委託の内容としては、下に活動として5つ挙げておりますが、教育を語るつどい、これは地域の皆さんと意見を出し合って、どうあるべきだということを考える。それから、4番目の子ども会議というのがあります。これは子どもたちがテーマを決めて話し合っ、地域に対する提言だとかを集約する場ということで、この2つを委託事業として受けてやっております。それに加えて、地域とのコミュニケーションを図る場の設定、あとはいろんな団体のネットワークを図るといったこともやっております。

今回、地域教育会議の団体の1つとして紹介したのは、小学校と地域との連携

イメージで、ちょうど学校と地域の間にいる団体ということで、王禅寺小学校の場合は、王禅寺中学校区地域教育会議の議長がまたその地域の顔でもあるというのもありまして、紹介をさせていただきました。

私からは以上でございます。

委員 そういう経緯でお願いさせていただいたということです。

では、ほかに何かご意見をいただければと思うんですが、ないようでしたら、先ほど守田委員からもいただいたんですが、我々のほうもちょっと煮詰まったような感じがあるので、もう1度頭をさらにして、新しい気持ちでまた新年を迎えて取り組んでいきたいなと思っておりますので、次回いい報告ができるようにやらせていただきます。

では、私からは以上です。ありがとうございました。

委員長 ありがとうございました。「農」の専門部会からのご報告でしたが、私たちは身近であるようで、なかなかわかりにくいところがたくさんありまして、どう切り込んでいいかというのが見えてこないということがあります。気がつかれたときにいつでも結構ですから、これは一体どうなんだろうということを尾中部会長にお申し出いただければ、きっと助かると思いますので、よろしく願いいたします。

農家の方たちの権利を侵害してもいけないとか、いろいろな思惑があります。いいと思うことがなかなかうまく進められないといったことが実際ではないかと思えます。

それからあと、学校という1つの切り口でしたが、対象校である王禅寺小学校がちょうど運悪くあと1年後に白山小学校と合併になるということがあります。中学は今度の4月から合併ですが、その合併に関して、例えば校舎を少し変えなくてはならないということで、とりあえず、合併した後1年間は白山中学校を使って授業を行う。その間にそこを直す。それから、小中連携校にしようということがあるので、そのための交流棟を建てようとか、いろんなことがここで起こってきています。

それから、地域教育会議にしても、白山小学校がなくなってしまうので、その跡地をどうするかということを検討したり、非常に忙しく動いているところです。そのため、なかなかうまくいかないで、尾中部会長は非常にご苦労なさっているのではないかと思います。そういうことをしながらでも、やはり子どもたちは成長していくし、それから教育は滞るわけにいかないの、何かそこでうまくサポートできればということで、また検討していただきたいと思っております。

イ「高齢者」専門部会からの調査検討経過の報告及び事例の調査審議

委員長 それでは、引き続きまして、課題の調査審議の「高齢者」専門部会からのご報告と審議に移らせていただきたいと思います。

菅原部会長、よろしくお願ひいたします。

委員 「農」の専門部会のシートに比べますと、「高齢者」のほうは非常に枚数が少なく思われると思うんですが、実は、私たちも以前にも申し上げましたように、老人いこいの家という既存の施設をもう少し見直したり、あるいはみんなに知っていただくというところにターゲットを絞りまして、アンケートを行うというところまで皆さんにご報告を申し上げたと思います。それで、そのアンケートにつきましても、私どもの資料1ページの調査検討経過についてという一覧表を見ていただければおわかりと思うんですが、第6回区民会議終了後、いろいろな方たちからご協力をいただきながら、部会を開きましたり、勉強会を開きましたり、進めてまいりました。

1番は、老人いこいの家が平成18年度の指定管理者制度の導入により、それまで麻生区6カ所全ての老人いこいの家を社協さんのほうで見ていただいたところが、4対2という形で指定管理者の方がわかれたというところに、私たちの今足踏み状態のポイントがございます。一応社協さんのほうとお話を進めた折には、アンケートにはご協力いただけてやってみたらどうかというお話をいただきました。

もう1つの神奈川高齢者生活協同組合さんのほうが、新しく中原区1カ所と麻生区2カ所の施設を受託、運営していらっしゃる団体なんですが、ここの方たちともう少しお話し合いを積み重ねて、いろいろその意思の疎通をとった上でアンケートのほうに踏み切ろうということで、そこはかなりお時間をとらせていただきました。

それで、本当は事例 が元気高齢者の地域参加、そして事例 が高齢者の見守りというところがあるんですが、今見守りのほうにはほとんど入っておりませんで、1の時点でございます。

アンケートにつきまして、実は何度かやりとりをさせていただいて、つい最近、11月28日に第5回高齢者専門部会を開きまして、1時から5時までという長時間にわたりまして、そこでまずは、いろいろな方からお話を聞かせていただくということで、神奈川高齢者生活協同組合からお2人おいいただきました。そして、その中でいろいろなお話を聞かせていただきました。生活協同組合さんのほうも、2年たたれたんですけれども、やはりいろいろご苦労されて、試行錯誤の上、この2年目を迎えたというお話を伺いました。そして、やはり社協さんがついていらっしゃるいこいの家と違いまして、いろいろなアドバイスをしてくださるようなリーダーさんみたいな形の専門職の方が、高齢者生活協同組合さんのほうのいこいの家の運営のところには直接いられないということも悩みの1つだったようです。

それから、大変いいなと思うのは、私なんかもいつもそう思っておりますが、いこいの家においてになる方は決してお客様ではない。地域の施設を利用して、高齢者の方たちが自分の思いも持ち寄りながらいろんなことが繰り広げられていく、決して高齢者の方をお客様扱いにしないという形で、これからも進んでいくんだというお話を

されてきました。

それから、今までどうしてもいこいの家というところは、趣味とか講座を中心に活動してきているけれども、やはりこれからは高齢者の方がご自分自身でいろいろなアイデアを出されて、そしてそれを育て上げていかれるような場所でもあってほしいということもおっしゃっていました。

それから、この場所を知っていただく、あるいは生活協同組合さんのことも知っていただくということもあると思うんですが、やはりいろいろな媒体を使ってもう少し知っていただくということにこれからは時間も割きたいし、これからはいろんな活動をしていく上にもそれが一番大事なことじゃないかと、そんなお話が出ました。

引き続き、社会福祉協議会さんにもおいでいただきましてお話をさせていただきました。やはり時代とともに変化する高齢者への対応策を講ずることが課題と考えていますと社協さんのほうもおっしゃっていました。あるいは条例とかいろいろ縛りはあるんだけど、運営委員会さんの力量によっていろいろなことがやはり違ってくる。今は全体に個性のある運営委員会さんで、全部が同じような運営を繰り返しているわけではないんですけれども、その辺が運営委員会さんのお考えによってはいろいろなことが広がっていくのではないかというお話をいただきました。

それから、健康福祉局高齢者在宅サービス課の方のお話も伺いました。いこいの家は、当初は元気な高齢者が自己実現する場所でもありましたが、介護保険制度や何かが始まりまして、より介護予防事業に力を入れる中で、いこいの家は、やはり介護予防事業の拠点としても位置づけていかなければいけないのではないかというお話もありました。

それから、私たちはこれから、アンケートをとらせていただいた結果によって、また社会福祉協議会さんからいただいたお話、それから高齢者生活協同組合さんからいただいた、いろいろな悩みもありましたし、そういうものもアンケート結果によっては一挙にいろんな方向へ引っ張っていけるのではないかと。それから、運営委員のメンバーの話の中にも出てまいりましたが、やはりいろいろな活動をしていく上で、例えばいこいの家の中の電気のアンペア数が低いために、パソコン教室をやりたいとかという、今皆さんが本当にやりたい活動をしたい場合に、それを実現できるアンペア数ではなかったりですとか、あるいはピンク電話が置いてあるものですから、そのピンク電話にファクスが取り付けられないということもあります。ファクスですとか、コピー機があることによってもう少しいろんなことが広がってくるのではないかなというのは、その運営委員の会話の中に出てまいりました。

話は前後いたしますが、先ほども申しましたように、まずアンケートをとるということで足踏み状態になっておりましたが、この間、12月17日に神奈川高齢者生活協同組合の事務所のほうに私と岩佐さんで出向かせていただきまして、直接いろんな点で

お話をさせていただきました。そしてアンケートの項目を1つ1つ読み上げていき、その中で大変いい方向にご了解がいただけまして、何通りか削除させていただいたり、ちょっと言葉つきを変えさせていただいた部分はあるんですけども、今日ゴーサインが、オーケーですよという非常にありがたいお返事が出たそうですので、これから私たちが一番目的としていましたが、6カ所のいこいの家全部にアンケートで訪問させていただくということが実現することになりました。ですので、これから皆さんにいろんな点をもっと報告させていただくことができるかと思うんです。

今、上野委員も佐藤委員もいらっしゃいますので、ちょっと一言ずつでもお話をさせていただければと思います。

委員 片平のいこいの家を訪問させていただいたことがあったんですが、ほかの施設も同じような感じのようですけども、高齢者社会が進行していく中で、老人いこいの家といったような施設の存在が非常に大事になってくるんだろうと思う中で、現実的には極めて地味な立場に、存在に置かれているのではないかというような印象を私、個人的には受けました。

例えば片平の老人いこいの家について言えば、その施設の案内板といったようなものが表の目につくところに出ていないで、存在そのものが近所の方々にも理解が進んでいないのではないかと懸念したり、あるいは活動内容についてのPR等が十分されていないのではないかと。もっともっとPRされて、いこいの家の取り組みの中身が地域の方々に知らされていくべきだ、認識されていくべきだと思っております。

したがって、活動内容、例えば教養講座だとか、いろいろあるわけですが、それらから十分PRされていないのではないかとこの気もするんです。利用してもらう方々が、外から見てもっともっと利用すればいいのになと思えるところが、そういう状況になっていないと感じられるところがありまして、大変地味な存在に置かれているのではないかなという感想が1点。

それからもう1つは、経済的なフォローアップが十分にされていないという感じがしないではありません。今、部会長から話がありましたが、例えばファクスがない、それからコピー機がないといったようなことが話されておりましたが、今こういう時代に、集団的にいろんな活動をしているところにファクスもなければコピーもないではやっぱりちょっとお粗末ではないかなと、もっともっとフォローアップされるべきではないかと、そんなことを感じました。

今までいこいの家等に対して関心が不十分でありましたので、何もわかっていなかったんですが、訪問して多くを知ることができまして本当によかったと思っております。

委員 私もこの専門部会に入りまして、初めて老人いこいの家なるものを知ったわけなん

です。もう1つは、私は王禅寺に住んでおりまして、片平とともに王禅寺いこいの家というところも拝見させていただいたんですけれども、先ほど部長もおっしゃいましたように、それぞれがかなり内容的に違った運営の仕方をしているようです。それからあと、内部の雰囲気もかなり違うということで、6カ所ある施設がそれぞれ特色を持って運営されているなという感じがしました。

ただ、非常に残念なことは、老人いこいの家というのを知っている人が非常に少ないということなんです。私の友達に、実はこの間老人いこいの家をちょっと見てきたという話をしましたら、「えっ、何だそれ」と言うわけです。しかも、私も老人なんですけれども、老人なのに老人だと言われることが非常に嫌いなんです。私もそういうところもあるわけなんですけれども、だから、老人いこいの家、せっかくの立派な施設がもっと身近にみんなが簡単に接触できる、そういうネーミングからしてちょっと変える時代がもう来ているのではないかなということを中心に感想として持っています。

それから、今度、この麻生区には、もう1つ新たに百合丘に老人いこいの家ができるんです。前回のこの区民会議の中でそういうお話をしたわけなんですけれども、市長さんのタウンミーティングがありまして、そこで質問を出したのですが、残念ながら時間切れでできなかったんです。そこでは回答を得られなかったんですけれども、実はその質問につきましては非常に詳しい資料を事務局からいただいたわけです。見ますと、そのとき私が申し上げたかったのは、老人いこいの家というのは余りにも寂しいところにある。百合丘のはもっと的確なぎやかなところに作るべきだと。したがって、そういうところにつくらないとこれからやっぱり需要を満たしていけないのではないかというようなことを申し上げたかったわけなんですけれども、ほかのところの老人いこいの家から見ますと、少しは改善されたような場所にあります。しかも、新しくて。

しかし、残念なことに、余り利用されていないお風呂がそこでもまた設けられるような構想になっているんです。風呂というものが必ずワンセットでそういうものの中に、新しい場合にも設置されなければならないのかという疑問をそこで持ったわけなんです。今回のアンケートを通じまして、その辺に対する利用者側のご意見なり、それから運営の方のご意見なり、実際は風呂に入っている人というのはごく少数なんです。片平でも、男女の風呂があるうちどっちかがないんです。しかも、実際に利用されているのは男性が1名であるとか、王禅寺のほうも、恐らく入るのは男性の風呂に3名くらいしか入らない。女性のほうはない。もう別な部屋になっているわけです。そんなことであるから、新たにつくる百合丘にも風呂なんていうものは要るのかなと。したがって、若干時代錯誤というか、そういう感じをしているところでして、早くアンケートをとりまして、その辺も含めてどういうふうな形に持っていくのがいい

のかがもうちょっと明らかになってくればというふうに期待をしております。

以上です。

委員 アンケートがようやく先方のほうへ受け入れられるということで、本当に一安心いたしました。そして、今日まで部会で皆様とともにアンケートの内容を検討してきたのがどういう形で今度報われていくのかなというアンケートをとった後の楽しみもまた出てまいりました。いこいの家という初めの老人がつくのがよくないのではないかなという気がするんです。ですから、まずネーミングの老人を省いて、いこいの上に何かつけるのであれば、皆さんが魅力的に感じるような別のお名前をつけていただきたいというような気もいたしております。

そしてまた、このアンケートをとる前のことなんですけれども、いこいの家を訪問しまして、いろんないこいの家があるなということは感じていただけだと思いますけれども、いこいの家を利用していらっしゃる方々はとても楽しんでいらっしゃる方が多いんです。まるで青春とまではオーバーですけれども、人生を謳歌していらっしゃる方が結構おいでになりまして、バスを乗り継いだり、電車を乗り継いだりしていらっしゃる方も結構いらっしゃるということを皆さんにわかっていただきたいと思います。

以上でございます。

委員 区民会議の皆さん、私たちは今ちょっと足踏み状態ですので、何を言ってもいいかわからないかもしれないんですけれども、もし元気な高齢者のためのことに関して何か皆さん方で思われていることがおありになりましたら、ご意見をいただきたいと思っています。いかがでしょうか。

私どもはいこいの家を1つ取り上げましたが、本来は昔のように、10軒の中の1軒ぐらい面倒見のいいおうちがあって、そこにふらっとみんなが行って、気心知れた人が話をしたりというところがふえてほしいと思っているので、いこいの家だけをそういう場所として育てていこうというふうには、高齢者部会の委員の皆さん思っていないと思うので、ただ、1つの例として、いこいの家を今回アンケートという形で見てみたいと思っています。

玉蟲さん、この間、帰りに少しお話をしたんですけれども、麻生区では外国の方もたくさんいらっしゃって、玉蟲さんが何かお話をしたいけれども、テンポが速いので、何となく話さないうちに終わって、きょう菅原さんの言ったことがすごくよくわかったと言っていたので、私は感激したんです。本当は我々の会に、佐藤さんたちとも今度あの人に入ってもらおうかなと言っていますが、一緒にいかがですか。やはり外国の方たちもたくさんいらっしゃいますし、もちろん高齢者の方もいらっしゃると思いますが、何か思われることがありますか。

委員 おっしゃったとおりに、ちゃんとわかって話をするまでになったら、もうテーマが

済んでいまして、だから、もし小さいグループで話ができれば、それはとても……。

私も高齢者だと思いますから、とても興味のあるテーマです。

委員 ということですので、次回は一緒にできそうでございます。

委員 ご出身はドイツのどちらでしたっけ。

委員 私は北ドイツのハンブルクの近くです。

委員 ハンブルクでしたね。お話を聞いていただいているように、日本は今高齢者社会を迎えて大きな試練を迎えているんです。そんなことで、他国では高齢者の存在がどのような状況で、どんな施設で、どんなふうに出されているのか、それに対して国策なり行政はどう絡んでいるのかとか、ドイツを例にいろいろお話をさせていただければ私どもの視野が広がるなと思っておりますので、よろしければぜひ仲間にお入りいただけたらと思います。

委員 よろしくお願ひします。

委員 最後に、老人いこいの家を取り上げてはおりますけれども、各6カ所の老人いこいの家の運営がいいとか悪いとか、決してそういうことを目的に私たちはアンケートをとるのではなく、本当に麻生区に生活している皆さんが、どうしたらいろんな面で彩り豊かな日々を送っていただけるかということをお話をして、高齢者協同組合の方もそのことで非常に賛同していただけたと思います。

老人いこいの家のアンケートを考えていく上で、私たちはいろいろ考えて思い当たったことは、この上にいるのはどういう団体の方でどこまでいこいの家に対して、この部分に対してはだれが責任を持っているんだろうか、ここから先で起きた問題はどこへ持っていけばだれが責任を持ていただけるのかということがちょっとわかりにくいので、そんな点もそこに携わっている方たちにもちょっと迷いがあるような気がいたします。

それから、麻生区に住んでいる私たちが、区民は、高齢者に対してどういうことをしてあげたらいいのか。私たちがふだんできることで高齢者の支えになることがどの部分なのだろうか。それから、今日は区長さんもおいでですが、麻生区の区の方たちにこの点をご協力をいただけるのではないかと、そんなこともアンケートの中で見きわめて、拾い出していった整理をしたいと思っております。

最後に、指定管理者が違って、4カ所と2カ所のいこいの家の皆さんはやはり話し合いを持っていただけたらというのが大いなる希望です。何となく4対2に分かれてしまっていると、やはり麻生区の高齢者を考えるということになると、ちょっと不便なところとか、意思の疎通が通らないところが出てくるかな、いろんな問題があつて難しいとは思いますが、やはり高齢者に目を向けて歩み寄って、1つの部門をつくらせて話し合ってもらったというの、アンケートをつくりながら高齢者委員会の人たちが考えたことです。

ちょっとまとまりませんが、以上で終わらせていただきます。

委員長 ありがとうございます。問題が非常に多岐にわたっていますし、特に老人いこの家って、確かに矢野委員がおっしゃったようにネーミングがよくないですね。昔はそれでよかったと思うのですが、現在は皆さん、元気高齢者が多くなってきています。私はもちろんもう高齢者の部類に入っていますが、自分で高齢であっても高齢と言われたくない、老人とは言われたくないという人が多いのです。例えばスポーツのおいても、ゲートボールが高齢者のスポーツとして位置づけられたら、非常にはやったのにもう廃れてしまいましたよね。やはりそういうネーミングだとか、人から見られるということに対する意識というのがあるので、できたら、やっぱりこれについては変えていただける1つになるといいかなと思っています。元気高齢者も、それから孤立している高齢者もいらっしゃるので、いろいろな形で切り口を持って考えていただきたいと思っています。

私も気がつかなくて非常に申しわけありませんでした、玉蟲委員にはもっとお話を伺ったらよかったのに、今までついつい議事を急ぐためにご意見を伺わなかったことがありました。失礼しました。これからどんなことでも結構です。わからなかったらわからないと言ってくださって結構ですので、ご意見をいただければと思います。麻生区にも外国人の方たちが区民としていらっしゃいますし、その方たちもやっぱり同じように困ることや問題のあることがたくさんおありだと思いますので、ぜひご意見をいただければと思っております。

## (2) 麻生区区民会議「区民フォーラム」企画案について

委員長 それでは次に、議事(2)に移らせていただきたいと思います。麻生区区民会議「区民フォーラム」の企画案についてというところに移らせていただきます。

前回の第6回の区民会議におきまして、来年の2月23日土曜日の午後1時半から麻生区区民会議「区民フォーラム」を開催することが決まりました。区民フォーラムに向けまして準備を進めるために実行委員会を組織しました。そのメンバーには8名の委員が決定し、それに当たっております。本日は実行委員会からこれまでの進捗状況等をご報告いただきたいと思います。

なお、実行委員会の委員長は、委員の互選により私が選任されましたが、報告はフォーラムの企画を担当していただいております京副委員長からお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

副委員長 私は区民フォーラムの実行委員会には手を挙げなかったんですが、企画委員という形でこのフォーラムにかかわらせていただいております。しかし、何となく実行委員なのかなと自分の中でもあいまいな形でこのフォーラムにかかわっておりますが、素案をつくらせていただきました関係上で、説明をさせていただきたいと思いま

す。

今、西谷委員長からお話がありましたように、実行委員会で何回か案を練らせていただきました。そして、その案がある程度まとまりましたのが、今資料3という形でお手元にあります資料でございます。さらに、これらについて区民の皆さんに広くPRして参加をいただこうというようなことで、この資料の9の経費の中にありますように、ポスターを作成しています。このポスターが皆さん方のお手元に行っています、このような内容ですが、実際のポスターはもう少し大きく、A3判の大きさになるかと思えます。

それで、今、日時等を言いましたが、2月23日土曜日、午後1時半から4時半、この会議室で、できましたら、150名定員に満たしてやりたいと思えます。先だって、川崎区田島地区で川崎区区民会議集会をやって、かなり大勢の区民の皆さんが参加したというようなニュースが神奈川新聞に出ておりましたけれども、麻生区でもそうした区民の参加を得て、ぜひ区民の声を区民会議の中に反映させていきたいと思えます。したがって、参加者は、ここに書いてありますように、一般の区民の方々、興味関心のある方はもちろん、それから区内に存在します各種関係団体等にぜひ呼びかけをして参加を募りたいと思っております。

7番目、内容でございますが、こんな内容で時間を進めさせていただきたいと実行委員会では考えております。初めにミニコンサートを、区役所でランチタイムコンサートとかトワイライトコンサートをやっていますが、そうした人たちの中からミニコンサートに出ていただく方を現在選考中でございます。そして主催者のあいさつ、そして14時から経過報告の第1部として、それぞれ今お話が出ていますような区民会議の審議経過報告、それから「農」の専門部会からの報告、「高齢者」専門部会からの報告、そして第2部としまして、地域での取り組み事例報告を3団体、一般公募して、募集を締め切って、現在選定中でございます。それから、休憩を挟んで第3部ということで、全体集会を開いて、そして参加者から多くの意見を寄せていただく、そんなような時間をできるだけ多くとりたいと思っております。そして、できましたら、4時半には閉じたいと思っております。

このフォーラムに向けて、広報につきましてできるだけ最善を尽くしたいと思っております。現在、市政だよりの2月1日号には掲載が予定されております。それから、チラシにつきましては、現在作成中でございます。それから、ポスターにつきましては、今申しましたように、このような形のものをつくる予定で、これは業者に依頼をする予定です。チラシにつきましては、委員の中で広報を担当していただいている守田委員を中心にチラシをつくり、そして回覧、配布等をしたいと思っております。そのほか、ホームページ、区民会議ニュース、新聞等に掲載をお願いしたいと思っております。そして、当然区内の各種関係団体等にもチラシ等で呼びかけたいと思いま

す。

経費につきましては、9番にありますように、雑駁ですが、大まか42万円ぐらいかかるのではないかと、そんなようなことであります。

その他ということで、土曜日ですので、小さいお子さんをお持ちの保護者等が参加されるということも考えられますので、保育をする、そんなようなことで今考えております。

以上でございます。

委員長 ありがとうございます。ただいま京副委員長から区民フォーラムの開催に向けたこれまでの進捗状況のご報告と、それから委員の皆様へのご協力のご依頼ということがありました。今回のフォーラムは、ここの副題にもありますように、「みんなで語ろう！地域づくり」というフレーズでやっていきたいと思っております。多くの区民の方にご参加いただき、それからいろいろな取り組み事例の紹介とか、意見交換を通じまして、みんなで地域づくりについて話し合っ、今後の実践活動につなげていきたいということを考えております。そのためには、区民会議の委員の方たち皆さんで一丸となってこのプロジェクトに取り組む必要があると思っておりますので、ぜひ皆様のご協力をいただきたいと思いますと思っております。

ただいま京副委員長からこの企画案についてのご説明がありましたけれども、このご説明に関係しまして、皆様方にご意見、それから疑問、質問、何でも結構です。お寄せいただきたいと思います。いかがでしょうか。

最初のところはいいですね。ミニコンサートというのは、ほんのちょっとなんですけれども、会場の雰囲気をつくっていくためにミニコンサートをとということで、今、上野委員のほうから交渉をしていただいています。

フォーラム自体は14時からということで、1部の経過報告は今までのことで、それぞれの部会長と、それから今のところ企画として考えていますのは、区民会議の審議経過報告は石田委員、「農」の専門部会からは尾中委員、「高齢者」専門部会では菅原委員の3人の方に経過報告をお願いしようということになっています。第2部のほうは、地域で今まで取り上げてこなかった事例をここで簡単に発表していただくということで、それらを含めて3部のほうで議論をしていってはどうかということです。ですから、ここの許容が150人ですから、できるだけ150人近い人たちに来ていただければと思っています。いわゆる拡大区民会議みたいな形で皆さんと意見交換ができればいいと思っておりますが、そういうような企画で進めさせていただきました。これについて何かありませんでしょうか。

委員 当日までのいろいろな役割は企画のほうでやっているようですけども、当日の役割分担というのは、もうこの次の区民会議では間に合いませんので、今回決めるのか、あるいは個人的にお願いするのか、その辺を確認していただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

委員長 実行委員会のほうでまだそこまで詰めていません。役職をまだつくっていませんので、広報、それから記録関係は、守田委員と谷川委員と小川委員のほうでお願いすることになっていますが、そのほかについては、実行委員会をもう1回も2回もやらないといけないと思うんですが、それから詰まってくるので、皆様に後日お願いをするという形になるかと思いますが、よろしいでしょうか。受けていただけますでしょうか。ぜひ当日は万難を排して皆さんにご出席いただかななくてはならないので、委員の方たちには何らかの形で全員にお願いすることになると思っております。できれば、こういうことならやってもいいですよというご希望があったら、事務局のほうに言っていただければ、例えば受付はちょっと早目に来て準備をしなくてならないでしょうし、会場設定はやっぱりみんなで手分けしてやらないといけないので、会場セッティングもしないといけないし、それから、例えば細かいことでは、ティータイムをするときのお茶の用意も必要ですし、意見をいただいたりするものの仕分けもしないといけないし、それをまとめていくことも短時間でやっていかななくてはならないので、皆さんにお願いしてやっていただくことになろうかと思っています。

ただ、もう少しこんな企画を入れたらどうでしょうという企画の案なんかを追加いただけることがあったらお願いします。まだ訂正できますのでこれが終わりますともうチラシをつくってしまいますので、訂正がきかなくなってしまうので、ですから、今日ぜひ皆さんにご意見をお願いしたいと思っていますが、いかがでしょうか。

委員 ちょっと質問させていただきます。10番目のその他のところですけれども、参加者の就学前幼児の保育の実施とありますけれども、これはとても結構だと思います。ただし、私たちが子育て支援などで子どもさんがお見えになりますと、必ず保険を掛けております。ですから、多分大丈夫だとは思いますが、その大丈夫を当てにしないで、もし何かあった場合ということをお考えいただいて、保険を適用なさったらいかがかと思えますけれども。

委員長 ありがとうございます。気がつきませんでした。検討させていただきたいと思っています。

保育は一応申し込み制をとろうと今思っております。何人くらい来られるか、または乳幼児はちょっとここでは難しいんですけども、何歳以上にするかということも含めて、ここはちょっとまだ検討ができていません。このプログラムを立てるので今まで精いっぱいだったものですから、まだしておりませんが、これについては検討させていただきます。また、矢野委員からも具体的なことを伺わせてください。

あと、どんなことでも結構です。気がついたことがあれば。

委員 1回抜けていたので、もしかしたら重複の質問になってしまったら申しわけないんですけども、第3部のところが85分の時間をとっていらっしゃるんですが、この

ところはどういうイメージでいらっしゃるのか、もし何かおありでしたら、少し教えていただけたらと思います。

委員長 このところは、一応「心が響きあう地域づくりに向けて」という非常に大きなテーマになっておりますけれども、今までいろんな事例発表がありました。その方たちにも、その後どうなっているのかなどのお話をさせていただいたり、それから、やはり地域づくりをするためにこういうのがいいのではないかとか、いろんな意見をいただきながら、拡大区民会議みたいな形にここができたらいいかなと思っています。まだ皆さんがどういう意見を出してくださるかというのがわからないものですから、いかんとも申し上げにくいんですけども、皆さんから区民会議に対するいろんなご質問だとか、ご意見だとか、それからご自分の体験、いわゆる地域でされている事例の発表だとか、そんなことをすべてここで受けようかなと思っています。全体集会という形で一応コーディネーターを置いて、そのコーディネーターが主導でやっていく予定ではいます。

できるだけ平場という形でやっていこうかなという構想だけは持っていますけれども、これはこういうふうにした方がうまくいきますよとかという何かいい案があったら、ぜひお寄せください。

ここは非常に難しいので、皆さんにもご協力をいただくことがあろうかと思っています。例えば余り意見が出なかったり、または意見がおかしい方向に行ってしまったときの修正とか、そういうことも皆さんにちょっとはお願いすることがあろうかと思っています。それでうまくまとまればいいかなと思っています。

委員 全体には、参加者がこちらを一斉に見て、前からお話をするという形式を1時半から4時までずっと貫かれるということで、例えば分科会みたいな形で、もう少しテーブルを分けて話がしやすいようにされるとかということではなくて、これの全体、大きい感じというふうにとらえていよろしいですか。

委員長 分散するグループでということも考えましたが、そうしますと共通の話題になっていけないので、できるだけ全体で、こういうふうに向かないで、ちょっと半円形みたいに組むような形で最初の発表からやってはどうでしょうかということぐらいは今話しております。まだ本決まりではありません。

最初のほうの報告は、多分映像も使いながらできたらやっていきたいなと思っていますので、完全に丸くしてしまうとやりにくいし、それから人数が多いですので、余り途中で変更することもできないので、半円ぐらいの形の少し丸程度で、机なしのいすだけでという形を考えています。机があるとやっぱり固くなるので、いすだけでこう並ぶようにしてやっていこうかと考えています。

実行委員会の中からも、私の意見で落ちているところを補足してください。

副委員長 14時50分、休憩、ティータイム、参加者との交流がありますが、そのときに、

受付で事前に配布をさせていただきたいと思いますが、活動報告や意見を記載する用紙をそこでお渡しして、そして第1部の経過報告等を受けて、第2部の3団体、そしてその後、それぞれ第3部で、言ってみたい、聞いてみたいというような意見を集約させていただいて、もし第2部で発表された方々に質問等が向けられているようでしたら、その人たちにその質問をお答えしていただくような場面もとりたいたいと思っています。したがって、できましたら、事前にお渡しする用紙にできるだけ参加者が書いていただければ、速やかにお互いにスイッチバックしてキャッチボールができるのではないかと考えております。

副委員長 このフォーラムは、やっぱり一番大事なことは150人の、それもいろんなところから来ていただく参加者じゃないかと思っています。ご指摘がありましたように、全体集会として85分という時間を第3部にとっていて、要するにここに一番力を入れたいと思っておるんですが、ちょっと漠然としているところがあるかもしれません。ただ、前回ご説明もしたんですけれども、一応この第3部の全体集会のテーマというのは、私はこう取り組んでいますよと。「心が響きあう地域づくり」ということで、私はもしくは私たちの町会では、自治会ではもしくは私たちの団体ではということをご希望からご発言いただきたいということです。

第2部で事例報告を3例やるんです。これも10分ずつですからそれほど時間はないんですが、現在その3例を選んでいきます。大体今固まって、これが固まったところでチラシができ上がると思いますけれども、私はこの事例発表報告というのは、何も第2部で3名の方がやられるというだけじゃなくて、むしろ区内全域でもって、いろんなところで、なかなか区民会議の目に触れていないかもしれないけれども、それほど有名じゃないかもしれないけれども、隠れたいろんな住んでいる方々のつながりというのを非常に大事にしながら活動している町会、自治会、団体があるのではないかなと思います。そういった方々は、第2部についてはもう事例は締め切りしましたけれども、第3部でぜひとも、私のほうではこういうことをやっていますよと。それも自慢話ということじゃなくて、むしろこういう難しいところがあるんだけれども、ほかの方々はどうしていますかねといった、実行委員会と会場とのやりとりじゃなくて、会場の中でのやりとりができるような雰囲気になりたいと思います。ぜひ皆様、今日20人の委員、それから参与の方もおられるわけですが、そういった方々がこれから地域に戻られて、自分のところの地元でもってこういう動きをやっているというのがありましたら、ぜひ当日、お仲間を連れてきていただいて、例えばここにおられる方がお1人5人ぐらいずつ連れてこられれば100人は集まるという机上の計算になりますけれども、何も数をそろえるという意味じゃなくて、いろんなところからいろんな方が出てきて、時間が足りないくらい、こういう例があるよということを報告し合う。そして、その中で皆さんが1つヒントを得たなというので、自分のところではそれを

取り入れようじゃないかというようなことに発展して、このフォーラムの目的である「心が響きあう地域づくり」というのが、このフォーラムが終わった後、さらに地域に、区内全域に、いろんなところで、小さいながらも少しずついいですから、広がっていくことを期待しておりますので、特にここにおられる委員の方々、個人、それから団体でお仲間に声をかけて、当日は参加していただくように、改めてまたお願いがあると思いますが、ひとつよろしく願いしたいと思っております。

以上です。

委員 今のお話に関連してなんですけれども、この実行委員会のメンバーの方というのは、人を集めることについて皆さん得意な方でいらっしゃるかもしれませんが、もっと得意な方がこの中にいらっしゃるわけですね。たくさんの方を集めていらっしゃる、例えば町会連合会さんとか、そのほかの方々もそういうことを常日ごろおやりになっている。したがって、そういう方々から少しご意見をいただいて、こうやれば人を集めることができるとか、ポスターの貼り方はこうしろとか、チラシはこういうふうにまけというふうな具体的なアイデアを募ってはいかがでしょうか。

委員長 上野委員から参加者をどう募ったらいいだろうかという案、それからポスターとかチラシの配布、この方法について何かご経験豊富な皆様方にご意見を伺いたいのですが、飯塚委員、いかがですか。

委員 私、立場上、それではこういうふうにやりますとかということは今日は控えさせていただきたいと思えます。実はうちの町連の役員さんもこの区民会議というのを余り知らないんです。今まで中島会長がやっておられて、それで私が今度出てきたんですけれども、実際我々の町連、月に1回ぐらいは役員会をやっていますけれども、余りそういう方法がわからないので、集めることは結構そういうような中で、事務局のほうから依頼があれば、何名ぐらい町会で集めてくださいよとか、そういう依頼だったらどうかなと思うのですけれども、今日はちょっと意見というのは控えさせていただきたいと思えます。

委員長 この区の中では町会が一番大きな団体だと思いますので、また飯塚委員にはぜひともご協力いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。町会が少し区民会議を理解していただくと、いろんなことでこれから推進力になるのではないかと思います。

そのほかにもポスターだとか、チラシの配布の方法、これで何かいい案がありましたらお願いします。こういうところにも貼ったらいいですよとか、私がこういうところなら貼りますとかということ、また、効果的なところに貼れる方がありましたら、今でなく、後ほど事務局のほうに言っていただいても結構でございますから、よろしく願いしたいと思っております。

あと何かありませんか。実際に私たちはやっていかななくてはいけないので、こんな

ことをやるのというふうに言われても困るので、ぜひ今のうちに、不満があったり、こんなことをやって大丈夫なのかということも含めてお願いしたいと思うんですが。 ありませんようでしたら、実行委員会はまたこれをさらに検討して、参加してくださった区民の方々が、フォーラムに来てよかったなという感想を持って帰っていただけるようにしたいと思っております。そのためのいろいろな検討をしていきますので、皆様方にぜひご協力をいただきたいと思いますと思っております。

今も飯塚委員だけに申し上げたわけではなくて、皆さんにも呼びかけ、参加の出席をお願いしたいと思っております。いろいろな団体から出てこられている方は、ぜひ団体の中でPRして下さって、何人かずつでもいらしていただける人を募っていただければと思っております。もしかしたら、各委員の方に何人ぐらい参加者を連れてきていただけますかということのを伺うことがあるかもしれません。それによって余りにも少なそうでしたら、少し拡大していかなくてはならないということも考えています。ですから、ぜひそのときはお声をかけさせていただきますので、よろしく願います。

それからあと、当日の役割分担についても、先ほども申しましたように、皆様方をお願いすることがあると思っておりますので、そのときはよろしくお願いしたいと思います。特に10分の間に活動報告とか意見をいただく、それを全部仕分けしたり、まとめをしたりなどということもありますので、そういうことが私は割合と得意だからという方があれば立候補していただくように、事務局のほうにしてください結構です。

それから、チラシの配布とかポスターの掲示も、もしできれば何枚ぐらいならポスターを貼れるということがあれば、後で結構ですので、今日でも言っていただきたいと思います。それから、チラシの配布も、何枚ぐらいのチラシを配布できるということも申し出ていただけると助かります。そうしますと、チラシができたときにすぐお送りすることができますので、そういうことも含めて願います。

あと、実行委員の方で何か私が漏らしたことがあったら補足してください。皆さんにお願いすることなど。

副委員長 チラシがいつごろできるのか、皆さんにお渡しできるポスターがいつごろできて貼りつけるのか、どんなところに貼るか、そういうことが説明されていない。

委員長 ポスターができる時期、上野委員……。

委員 それは、私は最終的な段取りはわからないんです。事務局の方をお願いします。

委員長 事務局のほうで、ポスターとチラシの時期、私のほうでも一応検討したのですが。

事務局 今ポスターにつきましては、案を固めていただいているところです。ポスターは、業者委託をして印刷してもらうということになります。業者さんのほうには一応

1月中旬にはポスターをつくってくださいということによってありますので、1月中旬にはでき上がってくるということで予定しております。

チラシのほうは、一応守田委員に年内中に案をまとめてもらいながら、出演の団体等が決まらなるとそのチラシの内容も決まらなるところがありますので、団体等が決り、形ができれば、あとは印刷をかけるだけで、1万枚ですので、リソグラフ等でつくりますから、それほどかからずにできるかと思えます。チラシは中身の作成待ちという形でございます。

両方とも、1月中旬から1月下旬までにかけて作成していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思えます。

委員長 今事務局からご説明いただいたように、ポスターもチラシも1月の中旬から下旬にかけてできて、それで皆様方にお願ひすることになるかと思っております。

委員 チラシができ上がったときに、各委員さんに何部かお送りいただきまして、委員さん方がそのチラシを自分の知り合いの方にお渡しいただくということはいいのではないかと思うんですが、いかがでしょうか。

委員長 各委員さんに何部ぐらい。

委員 例えば20何枚というふうにお送りして、その枚数を皆さん方がご近所にお願ひするなり、知り合いの方にお願ひしてまいていただくということもやったほうがいいと私は思えます。

委員長 今、神本委員から大体20枚ぐらい各委員にお願ひして、でも、もっとまけるという方がありましたら、ぜひお申し出いただくということにしましょうか。できるだけやはり、例えば団体推薦の方で委員会なんかがあったときに、皆さんに配れるという方は40枚でも50枚でも100枚でも言っていたら、それをお渡しすることができますので、ちょっと私はと思う方は言っていたらいいかというふうに思えます。20枚ぐらいだったら、ご近所ですとか、それからご自分の知り合いの方等に配ることのできるかと思うのですが、それ以上は多分何かつてがなるとちょっと難しいかと思えますので、広報はぜひ皆さんに積極的にお願ひしたいと思っております。ポスターも含めてです。

副委員長 ちょうど年末年始で、各団体の方はいろいろと会合がおありだろうと思うんです。ぜひそういった機会に配れるように、1月中旬というお話がさっき出ていたんですけども、チラシだけは内容をとにかく固めて、全部100%固めなくてもチラシはつくれるのではないかと思いますので、年明け早々には配布できるぐらいのスピードでやったほうがいいと思えますが、そういう話はなかったかしら。

委員長 ありました。これもちょっと実行委員会のほうで検討させていただいて、それのできるだけ早くにチラシは配布できるようにしたいと考えます。実行委員会でも出たんです。

配布の方法についてはいかがでしょうか。

委員 各町会、うちは今麻生区は101町会ございます。それで、お願いするんだったら、そういうような機会がありますから、町連の理事会等へ諮ってお願いする。そうしますと、2月の初め、第1土曜、日曜、各町会はここでみんな配るんです。ですから、1月中に持ってきていただければ、回覧で全部回ります。

それと、余りそれをやって、ここへ入り切れなかったらどうする。さっきから大勢いらしてくださいとして、予約をとらないで来た場合、いっぱいになった場合、入れませんというのでは困る。

それといま1つ、何でそういうことを言うかということ、私は柿生地区社協の総会などに行きますと、いっぱいです。ちょっと遅く来たら座るところがない。事務局の後ろのほうの席に座ってくださいとか、そんなふうに第1会議室がいっぱいになってしまふ。ですから、その辺ちょっと、皆さん、来るか、来ないかなんて言っていますが、もし来られたら大変だなというふうに、ちょっと感じたんです。

委員長 入り切れないうほど来られるなんていうのは夢のような気はちょっとするんですけども。

委員 矢野さんのほうはどうですか。東のほうの社協の状況は。

委員 結構入りますね。

委員 すごいでしょう。柿生地区は本当にいっぱいですよ。

委員 社協と民協と合わせて、民生委員が百五、六十名いますし、それから社協の会員が大体100名ぐらいおられますから。

委員 だから、本当にいっぱいですよ。

委員長 今度は全然不特定多数の区民だから、どうなんでしょうね。

委員 これをやった場合、もし入れなかったら、何だよと言われて大変じゃないかなというふうにちょっと心配しました。

委員長 少し皆さんとも打ち合わせが必要かとも思いますので、各委員が無理なく連れてこられるのは何人なのかというのちょっと申請していただくといいかもしれないですね。それで、プラスアルファ一般、ポスターを見て参加して下さる方がおよそどのくらいいるかなということの想定をする。それ以外何ともしようがないですよ。

昔、学校のほうの教研集会でやっぱり入らなくなったということがあったんです。川崎の小学校の先生たちだと思うんです。そのときは、また別の部屋を用意して、ビデオを使って、そこに映像で映したということがありましたけれども、やっぱり今度はフォーラムですから、いすだけですから、できるだけいすを確保して詰めるということではできるかと思います。

副委員長 10年ぐらい前に、区づくり白書委員会で主催をしてやっぱり区民フォーラムをやっているんですが、非常に集まらなかったんです。35名ぐらいが最高だったんです

が、何回か区民フォーラムを実施しているんですが、50名を超していないのが10年ぐらい前の区づくり白書の区民フォーラムでした。だから、集まりにくいのかなという、そんなような感じもします。

あと、1月7日に区役所前広場で、文化協会と区役所主催で、七草粥の会で七草がゆを300から350食ぐらい振る舞うんですが、ここでチラシをまくことは可能だと思います。

委員長 フォーラムというのは確かになかなか集まりにくいんですよ。やっぱり飯塚委員がおっしゃるように、入り切らなくなるということは本当に難しいかなと私は思っています。ですから、一生懸命広告をして、来ていただいてもなかなか集まらない。社協なんかは民生委員や何かの方たちがいらっしゃるので。

委員 今、矢野さんがおっしゃいましたけれども、柿生地区社協はいっぱい座るところが僕もなかった。あっちの方へ座ってくださいなんていって、事務局のほうの席へちょっと入ったんだけど。

委員長 それでは、今こんなことを言ってもらちが明きませんので、もう少し実行委員会のほうで詰めさせていただきたいと思っていますが、大体皆さんが、無理なく連れてこられるのは何人ぐらいなのかということぐらいは、もし伺わせていただければ助かる、参考にさせていただけると思っておりますので、事務局のほうにちょっとお申し出いただければと思っております。

引き続き、実行委員会のほうで検討しますから、皆さん方のご意見もまたお寄せいただければと思います。ただ、チラシをつくるのも早くしないといけないということで、どんどん作業は進めさせていただきますので、ご意見があれば早い時期にお願いしたいと思います。

これで本日の議事はすべて終了しましたが、3のその他に移りたいと思います。

### 3 その他

#### (1) 次期区民会議委員の選出分野別構成について

委員長 3のその他の(1)次期区民会議委員の選出分野別構成についてということで、事務局からご説明をお願いします。

事務局 事務局から説明

委員長 区民会議要綱第2条に規定されています委員構成ということの確認ですが、いかがでしょうか。ご意見ございませんでしょうか。ご意見がございませんようでしたら、選出分野別委員構成につきまして、この要綱の第2条の規定どおりということによろしいですか。それでは、確認させていただきます。ありがとうございます。では、次期もこの配分でやっていくということにします。

それでは、これで議事は一応終わりましたのですが、参与の方から何かご意見とか

ご助言をお願いしたいと思います。

参与 年末のお忙しいところご苦労さまでございます。

熱心な討議をやっているところ遅参してきましたんですが、ちょうど青葉幼稚園のところから駐車場に入るまで15分以上時間がかかりまして、麻生区が一番の課題は交通渋滞かななんて思いながらこちらにお邪魔したんです。

農と高齢者ということで、熱心なご討議をされて、本当に耳を傾けさせていただいたんですが、特に宮前区に次いで、農地の面積も、農家の数も2番目に多い麻生区とはいうものの、4つの農業振興地域を抱えたり、また緑と農業というのが麻生区のイメージなのかなということで、農をテーマに挙げている部門があるということと、菅原委員がお住まいになっている片平が高齢化率第1位ということで、その次が王禅寺西7丁目ということで、麻生区が新興住宅地というイメージの中で高齢化が確実に進んでいるというこの2つのテーマを取り上げたというのは、やっぱりタイムリーなのかなと思いました。

特に尾中委員のお話を聞いている中で、地元の方の直売会ですとか、生産組合と行政とJAのはざままで悩んでいるのかなとか、また同じ農業体験といっても、援農ボランティアで参加するのと市民農園で農を体験するのでは、相続税法やその他法律の中で農用地の取り扱いが変わってしまうというようなはざまの中でお悩みになっているのかなというふうに感じながらお話を伺っていたんですが、ふだん農業に接する機会のない方たちが、そういった具体的な壁に当たりながら体験していくというのは本当に有意義なことなのかなと思いながら、今後ともご討議の行く末を期待していきたいなと思いました。

いずれにせよ、ニューフロンティアプランですとか、自治基本条例で今市民との協働のルールづくりを進めている最中なんですが、この区民会議がその範となるような活動を来年以降もしていただけることを期待いたしまして、助言になっているかどうか分かりませんが、私のほうからの助言とさせていただきます。ありがとうございます。

参与 勝又でございます。私も南武線が昨日、今日とずっと人身事故で、今も来るときに車輪がおかしいというのでとまってしまいまして、ちょっと遅れましたので、「農」のほうと「高齢者」のほうのお話が伺えなくて残念なんです。

区民フォーラムについては、3月議会がちょうど始まっている最中ではありますがけれども、多くの方に声をかけて参加を呼びかけていきたいなと思っております。また、私も区民フォーラムには参加させていただけたらと思います。よろしく申し上げます。

参与 神奈川ネットの山口です。いつもお世話になります。

「農」のほうなんですけれども、今度王禅寺小学校と白山小学校の合併の問題と

か、いろいろなものが絡み合って難しいところもあり、また子どもたちと学校とJAとかの関係、本当に難しいものもあるかと思うんです。今回子どもたちを参加させていくということに関して、やはりまちづくりというところに子どもも参加をしていくというこのアピールなんですけれども、私は手を挙げて言おうかなと思ったんですが、実は麻生区内の高校とか、田園調布学園の学校とか、小学校とか、お母さんたちも年末に行くチャンスが多いので、学校にもこれを貼っていただくように呼びかけたらどうかというふうに考えました。これになるべく多く目に触れるチャンスがあったらいいなと思いましたので、ご検討いただけたらなと思います。

このフォーラムに参加するのに高校生とかもよろしいんですね。ですから、生徒会とか、中学生も結構いい意見を言うてくる子どもたちが多いんです。だから、やはりそういうところで、まちづくりに僕たちも参加するんだ、私たちも参加するんだというところでお声をかけていただけたらいいなと思いました。私ももちろん参加させていただきますので、よろしく願いいたします。

参与 ことし最後の区民会議ということでございまして、1年間お疲れさまでございました。課題のほうも非常に難しい課題をお選びになられて、その中で意見集約にご尽力いただいた委員長さん、副委員長さん、いろんなご苦労があったものと思いますけれども、本当にお疲れさまでございました。来年もまた実り多き会議となりますようご祈念申し上げて、ごあいさつにかえさせていただきます。ありがとうございました。

委員長 いいご意見、いろいろありがとうございます。参考にさせていただきたいと思っております。

#### (2) 第8回麻生区区民会議の日程について

委員長 それでは、時間がちょっと過ぎてしまいましたけれども、その他の(2)の第8回区民会議の日程に移らせていただきます。

事務局、お願いします。

事務局 事務局から日程について事務連絡

#### 4 閉会

委員長 以上の方、まだ終わっているわけではありませんけれども、この会議はこれで終わりにさせていただきますが、本当に長時間にわたりますご審議ありがとうございました。また、議事の進行についてのご協力ありがとうございました。

これで第7回麻生区区民会議を閉会させていただきます。

午後8時05分閉会